

連絡先	自動車局 審査・リコール課 リコール監理室 TEL 03-5253-8111 内線 42361 アドレス: <a href="http://www.mlit.go.jp">http://www.mlit.go.jp</a>
-----	--

リコール届出一覧表

リコール届出日：令和4年10月6日

リコール届出番号	5216	リコール開始日	令和4年10月7日
届出者の氏名又は名称	トヨタ自動車株式会社 問い合わせ先： 取締役社長 豊田 章男 トヨタお客様相談センター TEL 0800-700-7700		
不具合の部位（部品名）	①車体（カーテンシールドエアバッグ） ②走行装置（ディスクホイール・ハブボルト）		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	①カーテンシールドエアバッグにおいて、車両工場での作業が不適切なため、展開補助用のストラップが正規位置に組付けられていないものがある。そのため、エアバッグ作動時に正常に展開できず、最悪の場合、乗員が負傷するおそれがある。 ②ディスクホイール取付部において、ホイールの加工およびハブボルトの仕様が不適切なため、ハブボルトの締結力が車両の走行性能に対して不足し、連続した急加速や急制動の繰返し等で、当該ボルトが緩むことがある。そのため、そのままの状態で行くと、異音が発生し、最悪の場合、タイヤが脱落するおそれがある。		
改善措置の内容	①全車両、カーテンシールドエアバッグ展開補助用のストラップの組付状態を点検し、不適切なものは修正する。 ②全車両、ディスクホイールを良品に、ハブボルトを対策品に交換する。 また、ハブボルトの取扱いに関する注記を記載した取扱説明書に交換する。		
不具合件数	①②0件	事故の有無	①②無し
発見の動機	①社内からの情報による。②海外市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車特定整備事業者等に周知させるための措置	・使用者：ダイレクトメール、電話等で通知する。 ・自動車特定整備事業者等：日整連発行の機関誌に掲載する。 ・各社のインターネットホームページに掲載する。		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
トヨタ	ZAA-XEAM10	「bZ4X」	XEAM10-0001001～XEAM10-0001060 令和4年3月2日～令和4年6月2日	42	①、②
	ZAA-YEAM15		YEAM15-0001001～YEAM15-0001200 令和4年3月2日～令和4年5月31日	70	

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の 範囲及び製作期間	リコール 対象車の台数	備考
スバル	ZAA-XEAM10X	「ソレテラ」	XEAM10-0001021～XEAM10-0001051 令和 4年 3月30日～令和 4年 4月21日	10	①、②
	ZAA-YEAM15X		YEAM15-0001032～YEAM15-0001190 令和 4年 3月28日～令和 4年 5月23日	82	
	(計4型式)	(計2車種)	(製作期間の全体の範囲) 令和 4年 3月 2日～令和 4年 6月 2日	(計204台)	

(備考) 本件②は、令和4年6月23日付け届出番号「5177」にてリコール届出を行ったものであるが、原因が判明し、恒久対策が決定したため、再度届出するものである。

【注意事項】 リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。